一般質問

東小川団地

ささもとたかゆき
笹本孝幸議員が町に問う！

学校跡地の利活用は

答弁 建物は残す方向で協議中です

Q 学校跡地の利活用について、協議会における内容は。

A 政策推進課長 東小川住宅団地の多世代共生と持続可能なまちづくりを目指し、町と県、地域住民の代表、事業予定者が、跡地の利活用や配置等について協議中です。校舎は残す予定です。

Q 地元住民の意向は、計画のどの部分に反映されているのか。

A 政策推進課長 要望があった介護サービスや、路線バス利用者のための道路新設等を検討しています。

Q 今回の計画が、団地の空き家対策に与える効果は。

A 都市政策課長 団地内には多様な年齢層の方が行き交うなど、人の流れが変わることで、空き家を求めている方々が増加するなどの効果が期待されます。

プリム跡地のメガソーラー

Q 町内に計画されているメガソーラー事業の予定地内に存在する町所有の赤道[1]について、町長は以前「払い下げはせず、使用も許可しない」と答弁したが、その考えに変わりはないか。

A 町長 その考えに全く変わりはありません。

新たな利活用でよみがえる予定の校舎

小川消防団

かさはらのりひろ
笠原規弘議員が町に問う！

消防団組織の再編成を

答弁 消防団と所要の協議を進めます

Q 団員の減少は加速し、非常備消防（消防団）の存続が危ぶまれている。しっかりと消防団と向き合い、欠員を減らす取り組みが必要では。

A 防災地域支援課長 団員の欠員は、災害時において危機的な状況にあると認識しています。団員の確保に向けて、消防署や団員の話を直接聞き、対応していきます。

Q 災害時において、効果的・効率的に機能するためには、現状の2分団・8部隊体制を見直し、組織の再編が必要と捉えているが、考え等は。

A 防災地域支援課長 消防団の意見を最優先することとし、消防団が活動しやすい体制について、消防署を交えて協議します。

Q 機能別消防団は、個々の能力や事情に応じて、特定の時間等に限定し活動できる。消防署や消防団OB等を視野に入れる中で、地区・年齢・職種などに縛られない本制度の導入を進めるべきでは。

A 防災地域支援課長 制度を導入している自治体の状況を確認するなど研究し、その上で、消防署や消防団と検討していきます。

ボランティア精神と行動に感謝します

投票行きます！
（T・Mさん 10代）

新しい小川町の光が見える新町長と町議の誕生を祈る。
（H・Sさん 75歳）

[1] 古くから道路として利用された土地のうち、道路法の「道路の敷地」とされず、そのまま残った公の土地。

子ども医療費

いがらしやすひろ
五十嵐康博議員が町に問う！

対象年齢の拡充を

答弁 どのようにできるか検討していきます

Q 子ども医療費助成の対象年齢拡充は、「子育て世帯が住みたい町」の一端を担う。比企広域市町村内で、子ども医療費（通院）の対象年齢が15歳の自治体は、当町と他1町だけになるが、現状をどのように考えるか。

A 子育て支援課長 当町は小学校入学時に2万5000円相当を補助する支援金やココットにおいて、妊娠期からの切れ目のない支援の実施など、独自の施策を行ってきました。限られた財源の中で、どのような支援が有効かを検討します。

Q 対象年齢の拡充に踏み切れない理由として何があるのか。

A 子育て支援課長 財源的な負担が大きいと感じています。

Q 当町より財政が厳しいであろう自治体が既に拡充している。周辺自治体に遅れを取ることは、子育て世帯を呼び込もうとする町の方針と逆行したメッセージとして住民に伝わり、町への愛着の喪失へつながりかねない。1日も早い決断を願うが。

A 町長 若い世代に当町を選んでいただくことは、非常に重要です。これからどのようにできるか検討していきます。

子どもたちの健やかな成長を願う

森林整備

いぐちりょういち
井口亮一議員が町に問う！

森林環境譲与税の配分額は

答弁 2か年の合計で1193万円です

Q 気候変動対策の一環として、当町に配分された森林環境譲与税額はどの程度か。

A 環境農林課長 令和元年度と2年度の合計で1193万円です。令和3年度分は、約820万円を見込んでいます。

Q 満額配分となる令和6年度以降の見通しは。

A 環境農林課長 令和6年度からは、私有林・人工林面積50％、人口30％、林業就業者数20％の比率で配分されるようになります。あくまでも見込み額となりますが、1290万円と試算しています。

Q 森林環境譲与税を財源として、「脱炭素社会」の実現に向けた取り組みは進むか。

A 環境農林課長 森林経営管理法に基づく意向調査及び森林の現況調査を早急に実施するとともに、森林整備を進めていきたいと考えています。

Q リニューアルが予定されている道の駅に、木質バイオマスエネルギーの導入は実現するか。

A にぎわい創出課長 今後、道の駅再整備事業を進めていく中で、その可能性について、関係課と協議していきたいと考えています。

間伐など整備が期待される人工林

出たい！でも、まだ立候補できない年齢でした。（悔）
（M・Sさん 23歳）

移住希望が多いと聞きます。小川町を明るくしてください。
（F・Kさん 53歳）

つづく！

小川町議会だよりは 文字にコダワル！ 高齢者や視覚の弱い方にも読みやすいユニバーサルデザインフォントを使用します！